【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第２区分
【発行日】令和6年8月8日(2024.8.8)

【国際公開番号】WO2022/031695
【公表番号】特表2023-536630(P2023-536630A)
【公表日】令和5年8月28日(2023.8.28)
【年通号数】公開公報(特許)2023-161
【出願番号】特願2023-507633(P2023-507633)
【国際特許分類】
C07K 16/28(2006.01)
C12N 15/63(2006.01)
A61K 39/395(2006.01)
A61P 35/00(2006.01)
A61P 37/04(2006.01)
C12N 15/13(2006.01)
C12P 21/08(2006.01)
【FI】
C07K 16/28 ZNA
C12N 15/63 Z
A61K 39/395 N
A61P 35/00
A61P 37/04
C12N 15/13
C12P 21/08

【手続補正書】
【提出日】令和6年7月31日(2024.7.31)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
ＰＤ－Ｌ１に結合する抗体またはその断片であって、
配列番号７７であるＶＨ配列および配列番号７８であるＶＬ配列を含む抗体からの；
配列番号２５であるＶＨ配列および配列番号２６であるＶＬ配列を含む抗体からの；または
配列番号５１であるＶＨ配列および配列番号５２であるＶＬ配列を含む抗体からの
３つの重鎖相補性決定領域（ＣＤＲ）全ておよび／または３つの軽鎖ＣＤＲ全てを含む、抗体またはその断片。
【請求項２】
前記抗体が、
（ａ）
（１）配列番号５３、５９、６４、６５および７０からなる群から選択されるアミノ酸配列を有するV_H ＣＤＲ１、
（２）配列番号５４、６０、６６、７１および７６からなる群から選択されるアミノ酸配列を有するV_H ＣＤＲ２、ならびに
（３）配列番号５５、６１、６７および７２からなる群から選択されるアミノ酸配列

を有するV$_H$ ＣＤＲ３
を含む重鎖可変（V$_H$）領域、ならびに／または
（ｂ）
（１）配列番号５６、６２、６８および７３からなる群から選択されるアミノ酸配列を有するV$_L$ ＣＤＲ１、
（２）配列番号５７、６３および７４からなる群から選択されるアミノ酸配列を有するV$_L$ ＣＤＲ２、ならびに
（３）配列番号５８、６９および７５からなる群から選択されるアミノ酸配列を有するV$_L$ ＣＤＲ３
を含む軽鎖可変（V$_L$）領域
を含む、請求項１に記載の抗体またはその断片。
【請求項３】
前記抗体が、
（ｉ）
（ａ）
（１）配列番号５３のアミノ酸配列を有するV$_H$ ＣＤＲ１、
（２）配列番号５４のアミノ酸配列を有するV$_H$ ＣＤＲ２、および
（３）配列番号５５のアミノ酸配列を有するV$_H$ ＣＤＲ３
を含む重鎖可変（V$_H$）領域、ならびに／もしくは
（ｂ）
（１）配列番号５６のアミノ酸配列を有するV$_L$ ＣＤＲ１、
（２）配列番号５７のアミノ酸配列を有するV$_L$ ＣＤＲ２、および
（３）配列番号５８のアミノ酸配列を有するV$_L$ ＣＤＲ３
を含む軽鎖可変（V$_L$）領域、
（ｉｉ）
（ａ）
（１）配列番号５９のアミノ酸配列を有するV$_H$ ＣＤＲ１、
（２）配列番号６０のアミノ酸配列を有するV$_H$ ＣＤＲ２、および
（３）配列番号６１のアミノ酸配列を有するV$_H$ ＣＤＲ３
を含む重鎖可変（V$_H$）領域、ならびに／もしくは
（ｂ）
（１）配列番号６２のアミノ酸配列を有するV$_L$ ＣＤＲ１、
（２）配列番号６３のアミノ酸配列を有するV$_L$ ＣＤＲ２、および
（３）配列番号５８のアミノ酸配列を有するV$_L$ ＣＤＲ３
を含む軽鎖可変（V$_L$）領域、
（ｉｉｉ）
（ａ）
（１）配列番号６４のアミノ酸配列を有するV$_H$ ＣＤＲ１、
（２）配列番号５４のアミノ酸配列を有するV$_H$ ＣＤＲ２、および
（３）配列番号５５のアミノ酸配列を有するV$_H$ ＣＤＲ３
を含む重鎖可変（V$_H$）領域、ならびに／もしくは
（ｂ）
（１）配列番号５６のアミノ酸配列を有するV$_L$ ＣＤＲ１、
（２）配列番号５７のアミノ酸配列を有するV$_L$ ＣＤＲ２、および
（３）配列番号５８のアミノ酸配列を有するV$_L$ ＣＤＲ３
を含む軽鎖可変（V$_L$）領域、
（ｉｖ）
（ａ）
（１）配列番号６５のアミノ酸配列を有するV$_H$ ＣＤＲ１、
（２）配列番号６６のアミノ酸配列を有するV$_H$ ＣＤＲ２、および

（３）配列番号６７のアミノ酸配列を有するＶ$_H$ ＣＤＲ３
を含む重鎖可変（Ｖ$_H$）領域、ならびに／もしくは
（ｂ）
（１）配列番号６８のアミノ酸配列を有するＶ$_L$ ＣＤＲ１、
（２）配列番号６３のアミノ酸配列を有するＶ$_L$ ＣＤＲ２、および
（３）配列番号６９のアミノ酸配列を有するＶ$_L$ ＣＤＲ３
を含む軽鎖可変（Ｖ$_L$）領域、
（ｖ）
（ａ）
（１）配列番号７０のアミノ酸配列を有するＶ$_H$ ＣＤＲ１、
（２）配列番号７１のアミノ酸配列を有するＶ$_H$ ＣＤＲ２、および
（３）配列番号７２のアミノ酸配列を有するＶ$_H$ ＣＤＲ３
を含む重鎖可変（Ｖ$_H$）領域、ならびに／もしくは
（ｂ）
（１）配列番号７３のアミノ酸配列を有するＶ$_L$ ＣＤＲ１、
（２）配列番号７４のアミノ酸配列を有するＶ$_L$ ＣＤＲ２、および
（３）配列番号７５のアミノ酸配列を有するＶ$_L$ ＣＤＲ３
を含む軽鎖可変（Ｖ$_L$）領域、または
（ｖｉ）
（ａ）
（１）配列番号５３のアミノ酸配列を有するＶ$_H$ ＣＤＲ１、
（２）配列番号７６のアミノ酸配列を有するＶ$_H$ ＣＤＲ２、および
（３）配列番号５５のアミノ酸配列を有するＶ$_H$ ＣＤＲ３
を含む重鎖可変（Ｖ$_H$）領域、ならびに／もしくは
（ｂ）
（１）配列番号５６のアミノ酸配列を有するＶ$_L$ ＣＤＲ１、
（２）配列番号５７のアミノ酸配列を有するＶ$_L$ ＣＤＲ２、および
（３）配列番号５８のアミノ酸配列を有するＶ$_L$ ＣＤＲ３
を含む軽鎖可変（Ｖ$_L$）領域
を含む、請求項２に記載の抗体またはその断片。

【請求項４】
前記抗体が、
（ａ）
（１）配列番号１、７、１２、１３および１８からなる群から選択されるアミノ酸配列を有するＶ$_H$ ＣＤＲ１、
（２）配列番号２、８、１４、１９および２４からなる群から選択されるアミノ酸配列を有するＶ$_H$ ＣＤＲ２、ならびに
（３）配列番号３、９、１５および２０からなる群から選択されるアミノ酸配列を有するＶ$_H$ ＣＤＲ３
を含む重鎖可変（Ｖ$_H$）領域、ならびに／または
（ｂ）
（１）配列番号４、１０、１６および２１からなる群から選択されるアミノ酸配列を有するＶ$_L$ ＣＤＲ１、
（２）配列番号５、１１および２２からなる群から選択されるアミノ酸配列を有するＶ$_L$ ＣＤＲ２、ならびに
（３）配列番号６、１７および２３からなる群から選択されるアミノ酸配列を有するＶ$_L$ ＣＤＲ３
を含む軽鎖可変（Ｖ$_L$）領域
を含む、請求項１に記載の抗体またはその断片。

【請求項５】

前記抗体が、
（ｉ）
（ａ）
（１）配列番号１のアミノ酸配列を有するＶ$_H$ ＣＤＲ１、
（２）配列番号２のアミノ酸配列を有するＶ$_H$ ＣＤＲ２、および
（３）配列番号３のアミノ酸配列を有するＶ$_H$ ＣＤＲ３
を含む重鎖可変（Ｖ$_H$）領域、ならびに／もしくは
（ｂ）
（１）配列番号４のアミノ酸配列を有するＶ$_L$ ＣＤＲ１、
（２）配列番号５のアミノ酸配列を有するＶ$_L$ ＣＤＲ２、および
（３）配列番号６のアミノ酸配列を有するＶ$_L$ ＣＤＲ３
を含む軽鎖可変（Ｖ$_L$）領域、
（ｉｉ）
（ａ）
（１）配列番号７のアミノ酸配列を有するＶ$_H$ ＣＤＲ１、
（２）配列番号８のアミノ酸配列を有するＶ$_H$ ＣＤＲ２、および
（３）配列番号９のアミノ酸配列を有するＶ$_H$ ＣＤＲ３
を含む重鎖可変（Ｖ$_H$）領域、ならびに／もしくは
（ｂ）
（１）配列番号１０のアミノ酸配列を有するＶ$_L$ ＣＤＲ１、
（２）配列番号１１のアミノ酸配列を有するＶ$_L$ ＣＤＲ２、および
（３）配列番号６のアミノ酸配列を有するＶ$_L$ ＣＤＲ３
を含む軽鎖可変（Ｖ$_L$）領域、
（ｉｉｉ）
（ａ）
（１）配列番号１２のアミノ酸配列を有するＶ$_H$ ＣＤＲ１、
（２）配列番号２のアミノ酸配列を有するＶ$_H$ ＣＤＲ２、および
（３）配列番号３のアミノ酸配列を有するＶ$_H$ ＣＤＲ３
を含む重鎖可変（Ｖ$_H$）領域、ならびに／もしくは
（ｂ）
（１）配列番号４のアミノ酸配列を有するＶ$_L$ ＣＤＲ１、
（２）配列番号５のアミノ酸配列を有するＶ$_L$ ＣＤＲ２、および
（３）配列番号６のアミノ酸配列を有するＶ$_L$ ＣＤＲ３
を含む軽鎖可変（Ｖ$_L$）領域、
（ｉｖ）
（ａ）
（１）配列番号１３のアミノ酸配列を有するＶ$_H$ ＣＤＲ１、
（２）配列番号１４のアミノ酸配列を有するＶ$_H$ ＣＤＲ２、および
（３）配列番号１５のアミノ酸配列を有するＶ$_H$ ＣＤＲ３
を含む重鎖可変（Ｖ$_H$）領域、ならびに／もしくは
（ｂ）
（１）配列番号１６のアミノ酸配列を有するＶ$_L$ ＣＤＲ１、
（２）配列番号１１のアミノ酸配列を有するＶ$_L$ ＣＤＲ２、および
（３）配列番号１７のアミノ酸配列を有するＶ$_L$ ＣＤＲ３
を含む軽鎖可変（Ｖ$_L$）領域、
（ｖ）
（ａ）
（１）配列番号１８のアミノ酸配列を有するＶ$_H$ ＣＤＲ１、
（２）配列番号１９のアミノ酸配列を有するＶ$_H$ ＣＤＲ２、および
（３）配列番号２０のアミノ酸配列を有するＶ$_H$ ＣＤＲ３

を含む重鎖可変（V_H）領域、ならびに／もしくは
（ｂ）
（１）配列番号２１のアミノ酸配列を有するV_L　ＣＤＲ１、
（２）配列番号２２のアミノ酸配列を有するV_L　ＣＤＲ２、および
（３）配列番号２３のアミノ酸配列を有するV_L　ＣＤＲ３
を含む軽鎖可変（V_L）領域、または
（ｖｉ）
（ａ）
（１）配列番号１のアミノ酸配列を有するV_H　ＣＤＲ１、
（２）配列番号２４のアミノ酸配列を有するV_H　ＣＤＲ２、および
（３）配列番号３のアミノ酸配列を有するV_H　ＣＤＲ３
を含む重鎖可変（V_H）領域、ならびに／もしくは
（ｂ）
（１）配列番号４のアミノ酸配列を有するV_L　ＣＤＲ１、
（２）配列番号５のアミノ酸配列を有するV_L　ＣＤＲ２、および
（３）配列番号６のアミノ酸配列を有するV_L　ＣＤＲ３
を含む軽鎖可変（V_L）領域
を含む、請求項４に記載の抗体またはその断片。
【請求項６】
前記抗体が、
（ａ）
（１）配列番号２７、３３、３８、３９、および４４からなる群から選択されるアミノ酸配列を有するV_H　ＣＤＲ１、
（２）配列番号２８、３４、４０、４５、および５０からなる群から選択されるアミノ酸配列を有するV_H　ＣＤＲ２、ならびに
（３）配列番号２９、３５、４１、および４６からなる群から選択されるアミノ酸配列を有するV_H　ＣＤＲ３
を含む重鎖可変（V_H）領域、ならびに／または
（ｂ）
（１）配列番号３０、３６、４２、および４７からなる群から選択されるアミノ酸配列を有するV_L　ＣＤＲ１、
（２）配列番号３１、３７、および４８からなる群から選択されるアミノ酸配列を有するV_L　ＣＤＲ２、ならびに
（３）配列番号３２、４３、および４９からなる群から選択されるアミノ酸配列を有するV_L　ＣＤＲ３
を含む軽鎖可変（V_L）領域
を含む、請求項１に記載の抗体またはその断片。
【請求項７】
前記抗体が、
（ｉ）
（ａ）
（１）配列番号２７のアミノ酸配列を有するV_H　ＣＤＲ１、
（２）配列番号２８のアミノ酸配列を有するV_H　ＣＤＲ２、および
（３）配列番号２９のアミノ酸配列を有するV_H　ＣＤＲ３
を含む重鎖可変（V_H）領域、ならびに／もしくは
（ｂ）
（１）配列番号３０のアミノ酸配列を有するV_L　ＣＤＲ１、
（２）配列番号３１のアミノ酸配列を有するV_L　ＣＤＲ２、および
（３）配列番号３２のアミノ酸配列を有するV_L　ＣＤＲ３
を含む軽鎖可変（V_L）領域、

（ｉｉ）
（ａ）
（１）配列番号３３のアミノ酸配列を有するＶ$_H$　ＣＤＲ１、
（２）配列番号３４のアミノ酸配列を有するＶ$_H$　ＣＤＲ２、および
（３）配列番号３５のアミノ酸配列を有するＶ$_H$　ＣＤＲ３
を含む重鎖可変（Ｖ$_H$）領域、ならびに／もしくは
（ｂ）
（１）配列番号３６のアミノ酸配列を有するＶ$_L$　ＣＤＲ１、
（２）配列番号３７のアミノ酸配列を有するＶ$_L$　ＣＤＲ２、および
（３）配列番号３２のアミノ酸配列を有するＶ$_L$　ＣＤＲ３
を含む軽鎖可変（Ｖ$_L$）領域、
（ｉｉｉ）
（ａ）
（１）配列番号３８のアミノ酸配列を有するＶ$_H$　ＣＤＲ１、
（２）配列番号２８のアミノ酸配列を有するＶ$_H$　ＣＤＲ２、および
（３）配列番号２９のアミノ酸配列を有するＶ$_H$　ＣＤＲ３
を含む重鎖可変（Ｖ$_H$）領域、ならびに／もしくは
（ｂ）
（１）配列番号３０のアミノ酸配列を有するＶ$_L$　ＣＤＲ１、
（２）配列番号３１のアミノ酸配列を有するＶ$_L$　ＣＤＲ２、および
（３）配列番号３２のアミノ酸配列を有するＶ$_L$　ＣＤＲ３
を含む軽鎖可変（Ｖ$_L$）領域、
（ｉｖ）
（ａ）
（１）配列番号３９のアミノ酸配列を有するＶ$_H$　ＣＤＲ１、
（２）配列番号４０のアミノ酸配列を有するＶ$_H$　ＣＤＲ２、および
（３）配列番号４１のアミノ酸配列を有するＶ$_H$　ＣＤＲ３
を含む重鎖可変（Ｖ$_H$）領域、ならびに／もしくは
（ｂ）
（１）配列番号４２のアミノ酸配列を有するＶ$_L$　ＣＤＲ１、
（２）配列番号３７のアミノ酸配列を有するＶ$_L$　ＣＤＲ２、および
（３）配列番号４３のアミノ酸配列を有するＶ$_L$　ＣＤＲ３
を含む軽鎖可変（Ｖ$_L$）領域、
（ｖ）
（ａ）
（１）配列番号４４のアミノ酸配列を有するＶ$_H$　ＣＤＲ１、
（２）配列番号４５のアミノ酸配列を有するＶ$_H$　ＣＤＲ２、および
（３）配列番号４６のアミノ酸配列を有するＶ$_H$　ＣＤＲ３
を含む重鎖可変（Ｖ$_H$）領域、ならびに／もしくは
（ｂ）
（１）配列番号４７のアミノ酸配列を有するＶ$_L$　ＣＤＲ１、
（２）配列番号４８のアミノ酸配列を有するＶ$_L$　ＣＤＲ２、および
（３）配列番号４９のアミノ酸配列を有するＶ$_L$　ＣＤＲ３
を含む軽鎖可変（Ｖ$_L$）領域、または
（ｖｉ）
（ａ）
（１）配列番号２７のアミノ酸配列を有するＶ$_H$　ＣＤＲ１、
（２）配列番号５０のアミノ酸配列を有するＶ$_H$　ＣＤＲ２、および
（３）配列番号２９のアミノ酸配列を有するＶ$_H$　ＣＤＲ３
を含む重鎖可変（Ｖ$_H$）領域、ならびに／もしくは

（ｂ）
（１）配列番号３０のアミノ酸配列を有するＶ$_L$　ＣＤＲ１、
（２）配列番号３１のアミノ酸配列を有するＶ$_L$　ＣＤＲ２、および
（３）配列番号３２のアミノ酸配列を有するＶ$_L$　ＣＤＲ３
を含む軽鎖可変（Ｖ$_L$）領域
を含む、請求項６に記載の抗体またはその断片。
【請求項８】
前記Ｖ$_H$領域および／またはＶ$_L$領域が、（ｉ）ヒトフレームワーク配列、ならびに／または（ｉｉ）フレームワーク１（ＦＲ１）、フレームワーク２（ＦＲ２）、フレームワーク３（ＦＲ３）、および／もしくはフレームワーク４（ＦＲ４）配列をさらに含む、請求項１から７のいずれか一項に記載の抗体またはその断片。
【請求項９】
前記抗体またはその断片が、
（ｉ）配列番号７７のアミノ酸配列を含むＶＨおよび／もしくは配列番号７８のアミノ酸配列を含むＶＬ；
（ｉｉ）配列番号２５のアミノ酸配列を含むＶＨおよび／もしくは配列番号２６のアミノ酸配列を含むＶＬ；または
（ｉｉｉ）配列番号５１のアミノ酸配列を含むＶＨおよび／もしくは配列番号５２のアミノ酸配列を含むＶＬ
を含む、請求項１から８のいずれか一項に記載の抗体またはその断片。
【請求項１０】
（ｉ）前記抗体が、モノクローナル抗体である、
（ｉｉ）前記抗体が、ヒト化抗体、ヒト抗体、もしくはキメラ抗体である、
（ｉｉｉ）前記抗体もしくはその断片が、Ｆａｂ、Ｆａｂ’、Ｆ（ａｂ’）$_2$、Ｆｖ、ｓｃＦｖ、（ｓｃＦｖ）$_2$、単鎖抗体分子、二重可変領域抗体、単一可変領域抗体、線状抗体、Ｖ領域、もしくは抗体断片から形成された多重特異性抗体である、および／または
（ｉｖ）前記抗体もしくはその断片が、診断剤、検出剤もしくは治療剤とコンジュゲートしている、もしくは組換えによって融合しており、必要に応じて、前記治療剤が、化学療法剤、細胞毒、または薬物である、
請求項１から９のいずれか一項に記載の抗体またはその断片。
【請求項１１】
請求項１から１０のいずれか一項に記載の抗体またはその断片をコードする１つまたは複数のポリヌクレオチド。
【請求項１２】
請求項１から１０のいずれか一項に記載の抗体またはその断片をコードする１つまたは複数のポリヌクレオチドを含む１つまたは複数のベクター。
【請求項１３】
請求項１１に記載の１つもしくは複数のポリヌクレオチド、または請求項１２に記載の１つもしくは複数のベクターを含む細胞。
【請求項１４】
請求項１から１０のいずれか一項に記載の抗体またはその断片、および薬学的に許容される担体を含む、医薬組成物。
【請求項１５】
対象におけるがんもしくは腫瘍を処置するため、対象におけるがんもしくは腫瘍に付随する１つもしくは複数の症状を緩和するため、腫瘍を有する対象における腫瘍サイズを縮小するため、腫瘍を有する対象における腫瘍細胞除去を増強するため、対象におけるＴ細胞機能不全疾患、障害もしくは状態を処置するため、または対象におけるＴ細胞機能を増強するための方法における使用のための、請求項１から１０のいずれか一項に記載の抗体もしくはその断片を含む組成物または請求項１４に記載の医薬組成物であって、前記方法は、前記対象に、前記組成物または前記医薬組成物を投与するステップを含み、必要に応

じて、前記対象は、１つまたは複数の治療剤を、前記組成物または前記医薬組成物と組み合わせて投与される、組成物または医薬組成物。
【請求項１６】
対象におけるがんもしくは腫瘍を処置するため、対象におけるがんもしくは腫瘍に付随する１つもしくは複数の症状を緩和するため、腫瘍を有する対象における腫瘍サイズを縮小するため、腫瘍を有する対象における腫瘍細胞除去を増強するため、対象におけるＴ細胞機能不全疾患、障害もしくは状態を処置するため、または対象におけるＴ細胞機能を増強するための医薬の製造における、請求項１から１０のいずれか一項に記載の抗体もしくはその断片、または請求項１４に記載の医薬組成物の使用であって、前記医薬は、前記対象に投与されるものであり、必要に応じて、前記対象は、１つまたは複数の治療剤を、前記医薬と組み合わせて投与されるものである、使用。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０２５７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０２５７】
本出願全体を通して、様々な刊行物、特許、特許出願および他の文書を参照してきた。これらの刊行物、特許、特許出願および他の文書の開示全体が、本明細書に開示される主題が関係する技術分野の状態をより詳細に記載する目的を含めたあらゆる目的のために、これにより参照により本出願に組み込まれる。開示されている主題を、上に提供される実施例を参照しつつ説明してきたが、開示されている主題の主旨から逸脱することなく、様々な改変を行うことができることを理解されたい。本明細書を精査すれば、当業者には多くの変形形態が明らかとなるであろう。
本発明は、例えば、以下の項目を提供する。
(項目１)
（ｉ）配列番号２５のアミノ酸配列を有する重鎖可変領域および配列番号２６のアミノ酸配列を有する軽鎖可変領域；（ｉｉ）配列番号５１のアミノ酸配列を有する重鎖可変領域および配列番号５２のアミノ酸配列を有する軽鎖可変領域；または（ｉｉｉ）配列番号７７のアミノ酸配列を有する重鎖可変領域および配列番号７８のアミノ酸配列を有する軽鎖可変領域を含む抗体と本質的に同じ、ヒトＰＤ－Ｌ１に対する一価結合親和性（K_D）を有する抗体またはその断片。
(項目２)
ＰＤ－Ｌ１に結合する抗体またはその断片であって、
（ａ）
（１）
（ｉ）配列番号１、２７、または５３、
（ｉｉ）配列番号７、３３、または５９、
（ｉｉｉ）配列番号１２、３８、または６４、
（ｉｖ）配列番号１３、３９、または６５、および
（ｖ）配列番号１８、４４、または７０
からなる群から選択されるアミノ酸配列を有するV_H　ＣＤＲ１；
（２）
（ｉ）配列番号２、２８、または５４、
（ｉｉ）配列番号８、３４、または６０、
（ｉｉｉ）配列番号１４、４０、または６６、
（ｉｖ）配列番号１９、４５、または７１、および
（ｖ）配列番号２４、５０、または７６
からなる群から選択されるアミノ酸配列を有するV_H　ＣＤＲ２；ならびに
（３）

（ｉ）配列番号３、２９、または５５、
（ｉｉ）配列番号９、３５、または６１、
（ｉｉｉ）配列番号１５、４１、または６７、および
（ｉｖ）配列番号２０、４６、または７２
からなる群から選択されるアミノ酸配列を有するＶ$_H$ ＣＤＲ３；
を含む重鎖可変（Ｖ$_H$）領域と、
（ｂ）
（１）
（ｉ）配列番号４、３０、または５６、
（ｉｉ）配列番号１０、３６、または６２、
（ｉｉｉ）配列番号１６、４２、または６８、および
（ｉｖ）配列番号２１、４７、または７３
からなる群から選択されるアミノ酸配列を有するＶ$_L$ ＣＤＲ１；
（２）
（ｉ）配列番号５、３１、または５７、
（ｉｉ）配列番号１１、３７、または６３、および
（ｉｉｉ）配列番号２２、４８、または７４
からなる群から選択されるアミノ酸配列を有するＶ$_L$ ＣＤＲ２；ならびに
（３）
（ｉ）配列番号６、３２、または５８、
（ｉｉ）配列番号１７、４３、または６９、および
（ｉｉｉ）配列番号２３、４９、または７５
からなる群から選択されるアミノ酸配列を有するＶ$_L$ ＣＤＲ３
を含む軽鎖可変（Ｖ$_L$）領域と
を含む、抗体またはその断片。
(項目３)
ＰＤ－Ｌ１に結合する抗体またはその断片であって、
（１）
（ｉ）配列番号１、２７、または５３、
（ｉｉ）配列番号７、３３、または５９、
（ｉｉｉ）配列番号１２、３８、または６４、
（ｉｖ）配列番号１３、３９、または６５、および
（ｖ）配列番号１８、４４、または７０
からなる群から選択されるアミノ酸配列を有するＶ$_H$ ＣＤＲ１；
（２）
（ｉ）配列番号２、２８、または５４、
（ｉｉ）配列番号８、３４、または６０、
（ｉｉｉ）配列番号１４、４０、または６６、
（ｉｖ）配列番号１９、４５、または７１、および
（ｖ）配列番号２４、５０、または７６
からなる群から選択されるアミノ酸配列を有するＶ$_H$ ＣＤＲ２；ならびに
（３）
（ｉ）配列番号３、２９、または５５、
（ｉｉ）配列番号９、３５、または６１、
（ｉｉｉ）配列番号１５、４１、または６７、および
（ｉｖ）配列番号２０、４６、または７２
からなる群から選択されるアミノ酸配列を有するＶ$_H$ ＣＤＲ３
を含む重鎖可変（Ｖ$_H$）領域を含む、抗体またはその断片。
(項目４)
ＰＤ－Ｌ１に結合する抗体またはその断片であって、

（１）
（ｉ）配列番号４、３０、または５６、
（ｉｉ）配列番号１０、３６、または６２、
（ｉｉｉ）配列番号１６、４２、または６８、および
（ｉｖ）配列番号２１、４７、または７３
からなる群から選択されるアミノ酸配列を有するV_L ＣＤＲ１；
（２）
（ｉ）配列番号５、３１、または５７、
（ｉｉ）配列番号１１、３７、または６３、および
（ｉｉｉ）配列番号２２、４８、または７４
からなる群から選択されるアミノ酸配列を有するV_L ＣＤＲ２；ならびに
（３）
（ｉ）配列番号６、３２、または５８、
（ｉｉ）配列番号１７、４３、または６９、および
（ｉｉｉ）配列番号２３、４９、または７５
からなる群から選択されるアミノ酸配列を有するV_L ＣＤＲ３
を含む軽鎖可変（V_L）領域を含む、抗体またはその断片。
(項目５)
ＰＤ－Ｌ１に結合する抗体またはその断片であって、
配列番号２５であるＶＨ配列および配列番号２６であるＶＬ配列を含む、Ｐ２２と称される抗体からの；
配列番号５１であるＶＨ配列および配列番号５２であるＶＬ配列を含む、Ｐ２４と称される抗体からの；または
配列番号７７であるＶＨ配列および配列番号７８であるＶＬ配列を含む、Ｐ３１．２と称される抗体からのからの
３つの重鎖相補性決定領域（ＣＤＲ）全てまたは３つの軽鎖ＣＤＲ全てを含む、抗体またはその断片。
(項目６)
前記Ｐ２２と称される抗体からの３つの重鎖ＣＤＲ全ておよび３つの軽鎖ＣＤＲ全てを含む、項目５に記載の抗体またはその断片。
(項目７)
前記Ｐ２４と称される抗体からの３つの重鎖ＣＤＲ全ておよび３つの軽鎖ＣＤＲ全てを含む、項目５に記載の抗体またはその断片。
(項目８)
前記Ｐ３１．２と称される抗体からの３つの重鎖ＣＤＲ全ておよび３つの軽鎖ＣＤＲ全てを含む、項目５に記載の抗体またはその断片。
(項目９)
（ａ）表１～３に示されるV_H ＣＤＲ１、V_H ＣＤＲ２およびV_H ＣＤＲ３アミノ酸配列を含む重鎖可変（V_H）領域
または
（ｂ）表１～３に示されるV_L ＣＤＲ１、V_L ＣＤＲ２およびV_L ＣＤＲ３アミノ酸配列を含む軽鎖可変（V_L）領域
を含む、ＰＤ－Ｌ１に結合する抗体またはその断片。
(項目１０)
（ａ）表１～３に示されるV_H ＣＤＲ１、V_H ＣＤＲ２およびV_H ＣＤＲ３アミノ酸配列を含む重鎖可変（V_H）領域
ならびに
（ｂ）表１～３に示されるV_L ＣＤＲ１、V_L ＣＤＲ２およびV_L ＣＤＲ３アミノ酸配列を含む軽鎖可変（V_L）領域
を含む、項目９に記載の抗体またはその断片。

(項目１１)
表１～３に示されるＶ$_{H}$ ＣＤＲ１、Ｖ$_{H}$ ＣＤＲ２およびＶ$_{H}$ ＣＤＲ３アミノ酸配列を含む重鎖可変（Ｖ$_{H}$）領域を含む、項目９に記載の抗体またはその断片。
(項目１２)
表１～３に示されるＶ$_{L}$ ＣＤＲ１、Ｖ$_{L}$ ＣＤＲ２およびＶ$_{L}$ ＣＤＲ３アミノ酸配列を含む軽鎖可変（Ｖ$_{L}$）領域を含む、項目９に記載の抗体またはその断片。
(項目１３)
（ａ）
（１）配列番号１、７、１２、１３および１８からなる群から選択されるアミノ酸配列を有するＶ$_{H}$ ＣＤＲ１、
（２）配列番号２、８、１４、１９および２４からなる群から選択されるアミノ酸配列を有するＶ$_{H}$ ＣＤＲ２、ならびに
（３）配列番号３、９、１５および２０からなる群から選択されるアミノ酸配列を有するＶ$_{H}$ ＣＤＲ３
を含む重鎖可変（Ｖ$_{H}$）領域と、
（ｂ）
（１）配列番号４、１０、１６および２１からなる群から選択されるアミノ酸配列を有するＶ$_{L}$ ＣＤＲ１、
（２）配列番号５、１１および２２からなる群から選択されるアミノ酸配列を有するＶ$_{L}$ ＣＤＲ２、ならびに
（３）配列番号６、１７および２３からなる群から選択されるアミノ酸配列を有するＶ$_{L}$ ＣＤＲ３
を含む軽鎖可変（Ｖ$_{L}$）領域と
を含む、項目９に記載の抗体またはその断片。
(項目１４)
（ａ）
（１）配列番号１のアミノ酸配列を有するＶ$_{H}$ ＣＤＲ１、
（２）配列番号２のアミノ酸配列を有するＶ$_{H}$ ＣＤＲ２、および
（３）配列番号３のアミノ酸配列を有するＶ$_{H}$ ＣＤＲ３
を含む重鎖可変（Ｖ$_{H}$）領域と、
（ｂ）
（１）配列番号４のアミノ酸配列を有するＶ$_{L}$ ＣＤＲ１、
（２）配列番号５のアミノ酸配列を有するＶ$_{L}$ ＣＤＲ２、および
（３）配列番号６のアミノ酸配列を有するＶ$_{L}$ ＣＤＲ３
を含む軽鎖可変（Ｖ$_{L}$）領域と
を含む、項目１３に記載の抗体またはその断片。
(項目１５)
（ａ）
（１）配列番号７のアミノ酸配列を有するＶ$_{H}$ ＣＤＲ１、
（２）配列番号８のアミノ酸配列を有するＶ$_{H}$ ＣＤＲ２、および
（３）配列番号９のアミノ酸配列を有するＶ$_{H}$ ＣＤＲ３
を含む重鎖可変（Ｖ$_{H}$）領域と、
（ｂ）
（１）配列番号１０のアミノ酸配列を有するＶ$_{L}$ ＣＤＲ１、
（２）配列番号１１のアミノ酸配列を有するＶ$_{L}$ ＣＤＲ２、および
（３）配列番号６のアミノ酸配列を有するＶ$_{L}$ ＣＤＲ３
を含む軽鎖可変（Ｖ$_{L}$）領域と
を含む、項目１３に記載の抗体またはその断片。
(項目１６)
（ａ）

（１）配列番号１２のアミノ酸配列を有するＶ$_H$ ＣＤＲ１、
（２）配列番号２のアミノ酸配列を有するＶ$_H$ ＣＤＲ２、および
（３）配列番号３のアミノ酸配列を有するＶ$_H$ ＣＤＲ３
を含む重鎖可変（Ｖ$_H$）領域と、
（ｂ）
（１）配列番号４のアミノ酸配列を有するＶ$_L$ ＣＤＲ１、
（２）配列番号５のアミノ酸配列を有するＶ$_L$ ＣＤＲ２、および
（３）配列番号６のアミノ酸配列を有するＶ$_L$ ＣＤＲ３
を含む軽鎖可変（Ｖ$_L$）領域と
を含む、項目１３に記載の抗体またはその断片。
(項目１７)
（ａ）
（１）配列番号１３のアミノ酸配列を有するＶ$_H$ ＣＤＲ１、
（２）配列番号１４のアミノ酸配列を有するＶ$_H$ ＣＤＲ２、および
（３）配列番号１５のアミノ酸配列を有するＶ$_H$ ＣＤＲ３
を含む重鎖可変（Ｖ$_H$）領域と、
（ｂ）
（１）配列番号１６のアミノ酸配列を有するＶ$_L$ ＣＤＲ１、
（２）配列番号１１のアミノ酸配列を有するＶ$_L$ ＣＤＲ２、および
（３）配列番号１７のアミノ酸配列を有するＶ$_L$ ＣＤＲ３
を含む軽鎖可変（Ｖ$_L$）領域と
を含む、項目１３に記載の抗体またはその断片。
(項目１８)
（ａ）
（１）配列番号１８のアミノ酸配列を有するＶ$_H$ ＣＤＲ１、
（２）配列番号１９のアミノ酸配列を有するＶ$_H$ ＣＤＲ２、および
（３）配列番号２０のアミノ酸配列を有するＶ$_H$ ＣＤＲ３
を含む重鎖可変（Ｖ$_H$）領域と、
（ｂ）
（１）配列番号２１のアミノ酸配列を有するＶ$_L$ ＣＤＲ１、
（２）配列番号２２のアミノ酸配列を有するＶ$_L$ ＣＤＲ２、および
（３）配列番号２３のアミノ酸配列を有するＶ$_L$ ＣＤＲ３
を含む軽鎖可変（Ｖ$_L$）領域と
を含む、項目１３に記載の抗体またはその断片。
(項目１９)
（ａ）
（１）配列番号１のアミノ酸配列を有するＶ$_H$ ＣＤＲ１、
（２）配列番号２４のアミノ酸配列を有するＶ$_H$ ＣＤＲ２、および
（３）配列番号３のアミノ酸配列を有するＶ$_H$ ＣＤＲ３
を含む重鎖可変（Ｖ$_H$）領域と、
（ｂ）
（１）配列番号４のアミノ酸配列を有するＶ$_L$ ＣＤＲ１、
（２）配列番号５のアミノ酸配列を有するＶ$_L$ ＣＤＲ２、および
（３）配列番号６のアミノ酸配列を有するＶ$_L$ ＣＤＲ３
を含む軽鎖可変（Ｖ$_L$）領域と
を含む、項目１３に記載の抗体またはその断片。
(項目２０)
（ａ）
（１）配列番号２７、３３、３８、３９、および４４からなる群から選択されるアミノ酸配列を有するＶ$_H$ ＣＤＲ１、

（２）配列番号２８、３４、４０、４５、および５０からなる群から選択されるアミノ酸配列を有するV_H ＣＤＲ２、ならびに
（３）配列番号２９、３５、４１、および４６からなる群から選択されるアミノ酸配列を有するV_H ＣＤＲ３
を含む重鎖可変（V_H）領域と、
（ｂ）
（１）配列番号３０、３６、４２、および４７からなる群から選択されるアミノ酸配列を有するV_L ＣＤＲ１、
（２）配列番号３１、３７、および４８からなる群から選択されるアミノ酸配列を有するV_L ＣＤＲ２、ならびに
（３）配列番号３２、４３、および４９からなる群から選択されるアミノ酸配列を有するV_L ＣＤＲ３
を含む軽鎖可変（V_L）領域と
を含む、項目９に記載の抗体またはその断片。
(項目２１)
（ａ）
（１）配列番号２７のアミノ酸配列を有するV_H ＣＤＲ１、
（２）配列番号２８のアミノ酸配列を有するV_H ＣＤＲ２、および
（３）配列番号２９のアミノ酸配列を有するV_H ＣＤＲ３
を含む重鎖可変（V_H）領域と、
（ｂ）
（１）配列番号３０のアミノ酸配列を有するV_L ＣＤＲ１、
（２）配列番号３１のアミノ酸配列を有するV_L ＣＤＲ２、および
（３）配列番号３２のアミノ酸配列を有するV_L ＣＤＲ３
を含む軽鎖可変（V_L）領域と
を含む、項目２０に記載の抗体またはその断片。
(項目２２)
（ａ）
（１）配列番号３３のアミノ酸配列を有するV_H ＣＤＲ１、
（２）配列番号３４のアミノ酸配列を有するV_H ＣＤＲ２、および
（３）配列番号３５のアミノ酸配列を有するV_H ＣＤＲ３
を含む重鎖可変（V_H）領域と、
（ｂ）
（１）配列番号３６のアミノ酸配列を有するV_L ＣＤＲ１、
（２）配列番号３７のアミノ酸配列を有するV_L ＣＤＲ２、および
（３）配列番号３２のアミノ酸配列を有するV_L ＣＤＲ３
を含む軽鎖可変（V_L）領域と
を含む、項目２０に記載の抗体またはその断片。
(項目２３)
（ａ）
（１）配列番号３８のアミノ酸配列を有するV_H ＣＤＲ１、
（２）配列番号２８のアミノ酸配列を有するV_H ＣＤＲ２、および
（３）配列番号２９のアミノ酸配列を有するV_H ＣＤＲ３
を含む重鎖可変（V_H）領域と、
（ｂ）
（１）配列番号３０のアミノ酸配列を有するV_L ＣＤＲ１、
（２）配列番号３１のアミノ酸配列を有するV_L ＣＤＲ２、および
（３）配列番号３２のアミノ酸配列を有するV_L ＣＤＲ３
を含む軽鎖可変（V_L）領域と
を含む、項目２０に記載の抗体またはその断片。

(項目２４)
（ａ）
（１）配列番号３９のアミノ酸配列を有するＶ$_H$ ＣＤＲ１、
（２）配列番号４０のアミノ酸配列を有するＶ$_H$ ＣＤＲ２、および
（３）配列番号４１のアミノ酸配列を有するＶ$_H$ ＣＤＲ３
を含む重鎖可変（Ｖ$_H$）領域と、
（ｂ）
（１）配列番号４２のアミノ酸配列を有するＶ$_L$ ＣＤＲ１、
（２）配列番号３７のアミノ酸配列を有するＶ$_L$ ＣＤＲ２、および
（３）配列番号４３のアミノ酸配列を有するＶ$_L$ ＣＤＲ３
を含む軽鎖可変（Ｖ$_L$）領域と
を含む、項目２０に記載の抗体またはその断片。
(項目２５)
（ａ）
（１）配列番号４４のアミノ酸配列を有するＶ$_H$ ＣＤＲ１、
（２）配列番号４５のアミノ酸配列を有するＶ$_H$ ＣＤＲ２、および
（３）配列番号４６のアミノ酸配列を有するＶ$_H$ ＣＤＲ３
を含む重鎖可変（Ｖ$_H$）領域と、
（ｂ）
（１）配列番号４７のアミノ酸配列を有するＶ$_L$ ＣＤＲ１、
（２）配列番号４８のアミノ酸配列を有するＶ$_L$ ＣＤＲ２、および
（３）配列番号４９のアミノ酸配列を有するＶ$_L$ ＣＤＲ３
を含む軽鎖可変（Ｖ$_L$）領域と
を含む、項目２０に記載の抗体またはその断片。
(項目２６)
（ａ）
（１）配列番号２７のアミノ酸配列を有するＶ$_H$ ＣＤＲ１、
（２）配列番号５０のアミノ酸配列を有するＶ$_H$ ＣＤＲ２、および
（３）配列番号２９のアミノ酸配列を有するＶ$_H$ ＣＤＲ３
を含む重鎖可変（Ｖ$_H$）領域と、
（ｂ）
（１）配列番号３０のアミノ酸配列を有するＶ$_L$ ＣＤＲ１、
（２）配列番号３１のアミノ酸配列を有するＶ$_L$ ＣＤＲ２、および
（３）配列番号３２のアミノ酸配列を有するＶ$_L$ ＣＤＲ３
を含む軽鎖可変（Ｖ$_L$）領域と
を含む、項目２０に記載の抗体またはその断片。
(項目２７)
（ａ）
（１）配列番号５３、５９、６４、６５、および７０からなる群から選択されるアミノ酸配列を有するＶ$_H$ ＣＤＲ１、
（２）配列番号５４、６０、６６、７１、および７６からなる群から選択されるアミノ酸配列を有するＶ$_H$ ＣＤＲ２、ならびに
（３）配列番号５５、６１、６７、および７２からなる群から選択されるアミノ酸配列を有するＶ$_H$ ＣＤＲ３
を含む重鎖可変（Ｖ$_H$）領域と、
（ｂ）
（１）配列番号５６、６２、６８および７３からなる群から選択されるアミノ酸配列を有するＶ$_L$ ＣＤＲ１、
（２）配列番号５７、６３、および７４からなる群から選択されるアミノ酸配列を有するＶ$_L$ ＣＤＲ２、ならびに

（３）配列番号５８、６９、および７５からなる群から選択されるアミノ酸配列を有するＶ$_{L}$　ＣＤＲ３
を含む軽鎖可変（Ｖ$_{L}$）領域と
を含む、項目９に記載の抗体またはその断片。
(項目２８)
（ａ）
（１）配列番号５３のアミノ酸配列を有するＶ$_{H}$　ＣＤＲ１、
（２）配列番号５４のアミノ酸配列を有するＶ$_{H}$　ＣＤＲ２、および
（３）配列番号５５のアミノ酸配列を有するＶ$_{H}$　ＣＤＲ３
を含む重鎖可変（Ｖ$_{H}$）領域と、
（ｂ）
（１）配列番号５６のアミノ酸配列を有するＶ$_{L}$　ＣＤＲ１、
（２）配列番号５７のアミノ酸配列を有するＶ$_{L}$　ＣＤＲ２、および
（３）配列番号５８のアミノ酸配列を有するＶ$_{L}$　ＣＤＲ３
を含む軽鎖可変（Ｖ$_{L}$）領域と
を含む、項目２７に記載の抗体またはその断片。
(項目２９)
（ａ）
（１）配列番号５９のアミノ酸配列を有するＶ$_{H}$　ＣＤＲ１、
（２）配列番号６０のアミノ酸配列を有するＶ$_{H}$　ＣＤＲ２、および
（３）配列番号６１のアミノ酸配列を有するＶ$_{H}$　ＣＤＲ３
を含む重鎖可変（Ｖ$_{H}$）領域と、
（ｂ）
（１）配列番号６２のアミノ酸配列を有するＶ$_{L}$　ＣＤＲ１、
（２）配列番号６３のアミノ酸配列を有するＶ$_{L}$　ＣＤＲ２、および
（３）配列番号５８のアミノ酸配列を有するＶ$_{L}$　ＣＤＲ３
を含む軽鎖可変（Ｖ$_{L}$）領域と
を含む、項目２７に記載の抗体またはその断片。
(項目３０)
（ａ）
（１）配列番号６４のアミノ酸配列を有するＶ$_{H}$　ＣＤＲ１、
（２）配列番号５４のアミノ酸配列を有するＶ$_{H}$　ＣＤＲ２、および
（３）配列番号５５のアミノ酸配列を有するＶ$_{H}$　ＣＤＲ３
を含む重鎖可変（Ｖ$_{H}$）領域と、
（ｂ）
（１）配列番号５６のアミノ酸配列を有するＶ$_{L}$　ＣＤＲ１、
（２）配列番号５７のアミノ酸配列を有するＶ$_{L}$　ＣＤＲ２、および
（３）配列番号５８のアミノ酸配列を有するＶ$_{L}$　ＣＤＲ３
を含む軽鎖可変（Ｖ$_{L}$）領域と
を含む、項目２７に記載の抗体またはその断片。
(項目３１)
（ａ）
（１）配列番号６５のアミノ酸配列を有するＶ$_{H}$　ＣＤＲ１、
（２）配列番号６６のアミノ酸配列を有するＶ$_{H}$　ＣＤＲ２、および
（３）配列番号６７のアミノ酸配列を有するＶ$_{H}$　ＣＤＲ３
を含む重鎖可変（Ｖ$_{H}$）領域と、
（ｂ）
（１）配列番号６８のアミノ酸配列を有するＶ$_{L}$　ＣＤＲ１、
（２）配列番号６３のアミノ酸配列を有するＶ$_{L}$　ＣＤＲ２、および
（３）配列番号６９のアミノ酸配列を有するＶ$_{L}$　ＣＤＲ３

を含む軽鎖可変（V_L）領域と
を含む、項目２７に記載の抗体またはその断片。
(項目３２)
（ａ）
（１）配列番号７０のアミノ酸配列を有するV_H　ＣＤＲ１、
（２）配列番号７１のアミノ酸配列を有するV_H　ＣＤＲ２、および
（３）配列番号７２のアミノ酸配列を有するV_H　ＣＤＲ３
を含む重鎖可変（V_H）領域と、
（ｂ）
（１）配列番号７３のアミノ酸配列を有するV_L　ＣＤＲ１、
（２）配列番号７４のアミノ酸配列を有するV_L　ＣＤＲ２、および
（３）配列番号７５のアミノ酸配列を有するV_L　ＣＤＲ３
を含む軽鎖可変（V_L）領域と
を含む、項目２７に記載の抗体またはその断片。
(項目３３)
（ａ）
（１）配列番号５３のアミノ酸配列を有するV_H　ＣＤＲ１、
（２）配列番号７６のアミノ酸配列を有するV_H　ＣＤＲ２、および
（３）配列番号５５のアミノ酸配列を有するV_H　ＣＤＲ３
を含む重鎖可変（V_H）領域と、
（ｂ）
（１）配列番号５６のアミノ酸配列を有するV_L　ＣＤＲ１、
（２）配列番号５７のアミノ酸配列を有するV_L　ＣＤＲ２、および
（３）配列番号５８のアミノ酸配列を有するV_L　ＣＤＲ３
を含む軽鎖可変（V_L）領域と
を含む、項目２７に記載の抗体またはその断片。
(項目３４)
前記V_H領域またはV_L領域が、ヒトフレームワーク配列をさらに含む、項目９から３３のいずれか一項に記載の抗体またはその断片。
(項目３５)
前記ＶＨ領域およびＶＬ領域が、ヒトフレームワーク配列をさらに含む、項目３４に記載の抗体またはその断片。
(項目３６)
前記V_H領域またはV_L領域が、フレームワーク１（ＦＲ１）、フレームワーク２（ＦＲ２）、フレームワーク３（ＦＲ３）、および／またはフレームワーク４（ＦＲ４）配列をさらに含む、項目９から３３のいずれか一項に記載の抗体またはその断片。
(項目３７)
前記ＶＨ領域およびＶＬ領域が、フレームワーク１（ＦＲ１）、フレームワーク２（ＦＲ２）、フレームワーク３（ＦＲ３）、およびフレームワーク４（ＦＲ４）配列をさらに含む、項目３６に記載の抗体またはその断片。
(項目３８)
モノクローナル抗体である、項目１から３７のいずれか一項に記載の抗体またはその断片。
(項目３９)
前記モノクローナル抗体が、ヒト化抗体、ヒト抗体、またはキメラ抗体である、項目３８に記載の抗体またはその断片。
(項目４０)
Ｆａｂ、Ｆａｂ’、Ｆ（ａｂ’）$_2$、Ｆｖ、ｓｃＦｖ、（ｓｃＦｖ）$_2$、単鎖抗体分子、二重可変領域抗体、単一可変領域抗体、線状抗体、Ｖ領域、または抗体断片から形成された多重特異性抗体である、項目１から３９のいずれか一項に記載の抗体またはその断片。

(項目４１)
診断剤、検出剤または治療剤とコンジュゲートしている、または組換えによって融合している、項目１から４０のいずれか一項に記載の抗体またはその断片。
(項目４２)
前記治療剤が、化学療法剤、細胞毒、または薬物である、項目４１に記載の抗体またはその断片。
(項目４３)
項目１から４２のいずれか一項に記載の抗体またはその断片と本質的に同じエピトープに結合する結合性作用剤。
(項目４４)
抗体またはその断片である、項目４３に記載の結合性作用剤。
(項目４５)
非抗体タンパク質足場を含む、項目４３に記載の結合性作用剤。
(項目４６)
前記非抗体タンパク質足場が、フィブロネクチン足場、アンチカリン、アドネクチン、アフィボディ、ＤＡＲＰｉｎ、フィノマー、アフィチン、アフィリン、アビマー、システインリッチノッチンペプチド、または操作されたクニッツ型阻害剤を含む、項目４５に記載の結合性作用剤。
(項目４７)
項目１から４２のいずれか一項に記載の抗体またはその断片と、ヒトＰＤ－Ｌ１への結合について競合する、結合性作用剤。
(項目４８)
抗体またはその断片である、項目４７に記載の結合性作用剤。
(項目４９)
項目１から４２のいずれか一項に記載の抗体またはその断片をコードする１つまたは複数のポリヌクレオチドを含む１つまたは複数のベクター。
(項目５０)
項目１から４２のいずれか一項に記載の抗体またはその断片、および薬学的に許容される担体を含む、医薬組成物。
(項目５１)
対象におけるがんまたは腫瘍を処置するための方法であって、前記対象に項目１から４２のいずれか一項に記載の抗体もしくはその断片、または項目５０に記載の医薬組成物を投与するステップを含む、方法。
(項目５２)
対象におけるがんまたは腫瘍に付随する１つまたは複数の症状を緩和するための方法であって、前記対象に項目１から４２のいずれか一項に記載の抗体もしくはその断片、または項目５０に記載の医薬組成物を投与するステップを含む、方法。
(項目５３)
腫瘍を有する対象における腫瘍サイズを縮小するための方法であって、前記対象に項目１から４２のいずれか一項に記載の抗体もしくはその断片、または項目５０に記載の医薬組成物を投与するステップを含む、方法。
(項目５４)
腫瘍を有する対象における腫瘍細胞除去を増強するための方法であって、前記対象に項目１から４２のいずれか一項に記載の抗体もしくはその断片、または項目５０に記載の医薬組成物を投与するステップを含む、方法。
(項目５５)
対象におけるＴ細胞機能不全疾患、障害または状態を処置するための方法であって、前記対象に項目１から４２のいずれか一項に記載の抗体もしくはその断片、または項目５０に記載の医薬組成物を投与するステップを含む、方法。
(項目５６)

前記Ｔ細胞機能不全疾患、障害または状態が、腫瘍免疫である、項目５５に記載の方法。
(項目５７)
対象におけるＴ細胞機能を増強するための方法であって、前記対象に項目１から４２のいずれか一項に記載の抗体もしくはその断片、または項目５０に記載の医薬組成物を投与するステップを含む、方法。
(項目５８)
前記Ｔ細胞機能が、サイトカインの分泌である、項目５７に記載の方法。
(項目５９)
前記Ｔ細胞機能が、腫瘍細胞の除去である、項目５７に記載の方法。
(項目６０)
前記対象が、がんまたは腫瘍の診断を受けている、項目５７から５９のいずれか一項に記載の方法。
(項目６１)
前記対象に、１つまたは複数の治療剤を、前記抗体もしくはその断片または前記医薬組成物と組み合わせて投与する、項目５１から６０のいずれか一項に記載の方法。